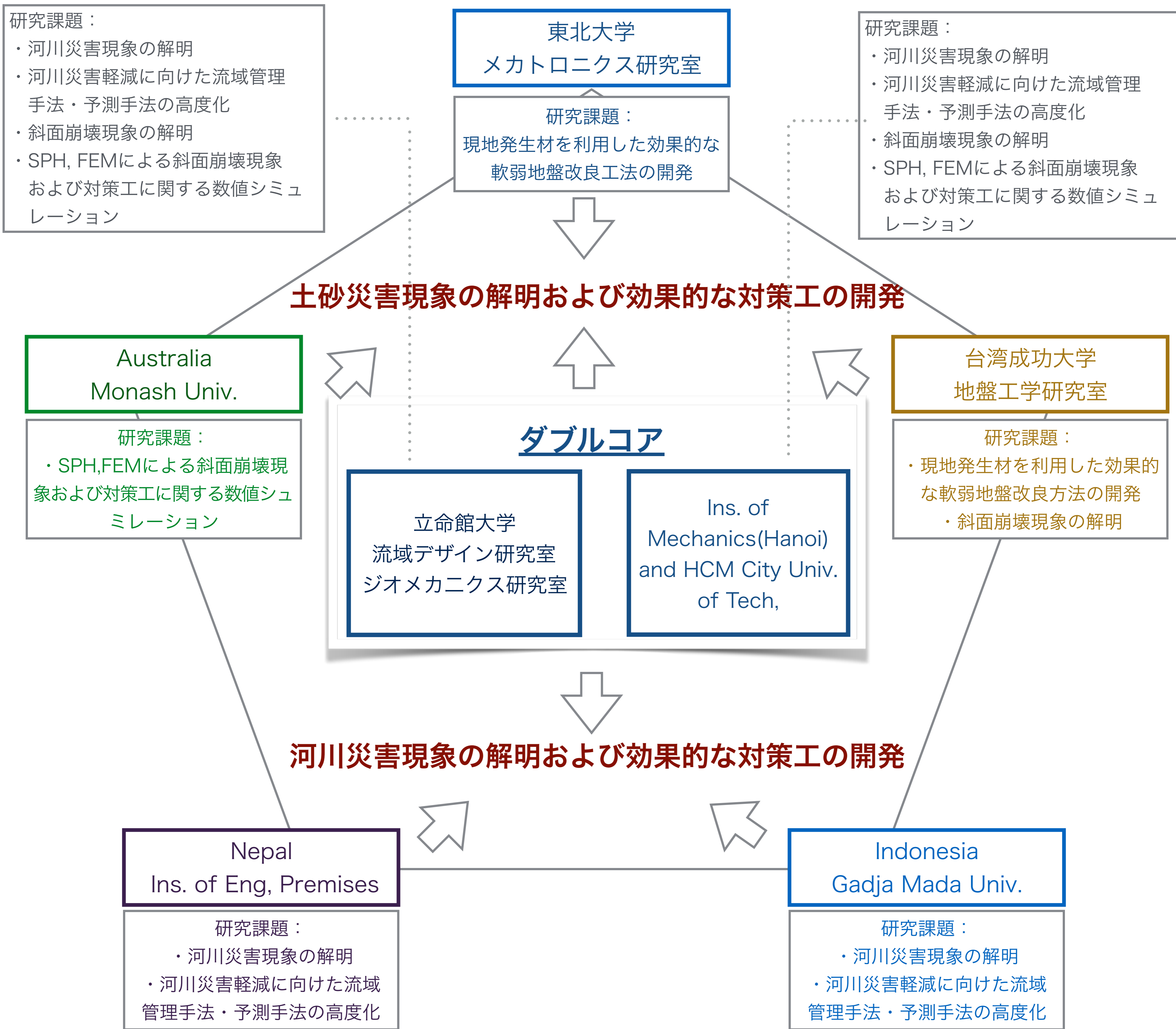


土砂・河川災害減災に向けた日越を中心とするアジア研究拠点の構築

Establishment of Asia-Based Research Center for Mitigation of Landslide and Flood Disasters

by Japan-Vietnam Joint Initiative

プロジェクトリーダー 里深好文 (理工学部)



目的 Purpose

土石流と斜面崩壊に起因する土砂災害、および洪水に代表される河川災害を念頭に置き、その防災対策の実現を通して社会貢献、国際貢献を果たすことを目指す。具体的には、まずアジア各国における土砂災害・河川災害の現状を調査・分析し、次に河川災害軽減に向けた効果的な流域管理手法・予測手法の確立、現地発生材を活用した経済的かつ効果的な防災対策工法の開発を目指し、もってアジア各国の防災対策に資することを目的とする。

目標 Goal

- ・河川災害および土砂災害の現状分析を今後も着実に進め、全体として知識の共有化をはかることを目標とする。
- ・河川災害の軽減に向けた流域管理手法および予測手法を、洪水氾濫シミュレータをプロジェクト参加国の事例に適用し、有効性を検証する。
- ・現地発生材を活用した経済的かつ効果的な軟弱地盤改良工法の開発には、プロジェクトメンバー参加国の現地斜面への適用性を特にベトナム、インドネシア、ネパールのメンバーと連携して進める。
- ・研究期間終了時点では、提案する新しい軟弱地盤改良土を利用した斜面防災対策工法がそれぞれのフィールドで実用段階になっていることを目標とする。